

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 5 月 10 日 (2007.5.10)

【公開番号】特開 2002-150474 (P2002-150474A)

【公開日】平成 14 年 5 月 24 日 (2002.5.24)

【出願番号】特願 2000-345399 (P2000-345399)

【国際特許分類】

G 0 8 G 1/005 (2006.01)

G 0 1 C 21/00 (2006.01)

【F I】

G 0 8 G 1/005

G 0 1 C 21/00 G

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 15 日 (2007.3.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 3】

本体 2 1 には、各種の文字や記号などを入力するとき操作されるキーボード 2 4、LCD (Liquid Crystal Display) 2 6 に表示されるポインタ (マウスカーソル) を移動させるときなどに操作されるポインティングデバイスとしてのタッチパッド 2 5、および電源スイッチ 2 7 がその上面に設けられている。また、ジョグダイヤル 2 3、スロット 2 8、IEE (Institute of Electrical and Electronics Engineers) 1394 ポート 1 0 1、およびメモリカードスロット 1 1 5 等が、本体 2 1 の側面に設けられている。なお、タッチパッド 2 5 に代えて、スティック式のポインティングデバイスを設けることも可能である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 4】

ブリッジ 5 3 は、例えば、インテル社製の AGP Host Bridge Controller である 4 0 0 B X などで構成されており、CPU 5 1 および RAM (Random-Access Memory) 5 4 (いわゆる、メインメモリ) 等のデータの伝送などを制御する。さらに、ブリッジ 5 3 は、AGP 5 0 を介して、ビデオコントローラ 5 7 とのデータの伝送を制御する。なお、このブリッジ 5 3 とブリッジ (いわゆる、サウスブリッジ (PCI-ISA Bridge)) 5 8 とで、いわゆるチップセットが構成されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 8 0】

また、PCI バス 5 6 にはブリッジ 5 8 (いわゆる、サウスブリッジ) も接続されている。ブリッジ 5 8 は、例えば、インテル社製の P I I X 4 E などで構成されており、IDE (Integrated Drive Electronics) コントローラ / コンフィギュレーションレジスタ 5 9、

タイマ回路 6 0、IDEインターフェース 6 1、およびUSB (Universal Serial Bus) インターフェース 6 8 等を内蔵している。ブリッジ 5 8 は、IDEバス 6 2 に接続されるデバイス、またはISA/EIO (Industry Standard Architecture / Extended Input Output) バス 6 3 若しくはI/Oインターフェース 6 9 を介して接続されるデバイスの制御等、各種のI/O (Input / Output) を制御する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 0 5】

Flash ROM 2 3 3 は、EEPROM (Electrically Erasable Programmable Read-Only Memory) の一種であるフラッシュメモリで構成され、一般的には、CPU 2 3 1 が使用するプログラムや演算用のパラメータのうちの基本的に固定のデータを格納する。EDO DRAM 2 3 4 は、CPU 2 3 1 の実行において使用するプログラムや、その実行において適宜変化するパラメータを格納する。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 1 3】

音声再生部 2 4 2 は、スピーカ、および音声のデータの復号回路などから構成され、予め記憶している音声のデータ、またはインターネットを介して受信した音声のデータなどを復号して、再生し、音声を出力する。例えば、音声再生部 2 4 2 は、バッファ 2 4 1 を介して、CPU 2 3 1 から供給された音声のデータを再生して、データに対応する音声を出力する。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 2 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 2 9】

メモリカード 2 は、例えば、本願出願人であるソニー株式会社によって開発されたフラッシュメモリカードの一種である、メモリスティック (商標) である。このメモリカード 2 は、縦 21.5 × 横 50 × 厚さ 2.8 [mm] の小型薄型形状のプラスチックケース内に電氣的に書換えや消去が可能な不揮発性メモリであるEEPROM (Electrically Erasable and Programmable Read Only Memory) の一種であるフラッシュメモリ素子を格納したものであり、10ピン端子を介して画像や音声、音楽等の各種データの書き込み及び読み出しが可能となっている。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 4 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 4 3】

画像エンコーダ 3 3 4 は、CCDカメラ 3 0 6 から供給された画像データを、例えば、MPEG (Moving Picture Experts Group) 2 またはMPEG 4 等の所定の符号化方式によって圧縮符号化することにより符号化画像データに変換し、これを多重分離部 3 3 8 に送出する。